

福祉をもっと身近に
「第1回 Fukuoka福祉車両ふれあいの日inトリアス」開催！



TORIUS to BIZ Event Report vol.18



9月20日(土)21日(日)にトリアスキッズガーデンで「第1回 Fukuoka福祉車両ふれあいの日inトリアス」が開催されました。

■五感で感じる『福祉』

福祉車両に気軽にふれ、相談できる場として、また新しい仲間や人と人とのつながりのきっかけづくりの場として開催された本イベント。会場には、車両のスロープを利用して車いすのまま乗り降りできるタイプや、ストレッチャーに対応したタイプなど、さまざまな福祉車両が並びました。来場者は実際に試乗し、乗り心地を確認。スタッフやほかの来場者と話を交えながら乗車している姿も多く見られ、終始和やかな雰囲気包まれていました。



隣のブースでは、県内各地の福祉事業者が出店した福祉マルシェが行われました。アクセサリや小物、自家焙煎のドリップコーヒー、体験型のワークショップなど、魅力的なアイテムがずらり。来場者は、五感で楽しみながら、お気に入りの一品を選んでいました。



子どもたちの目線がくぎ付けになったのは、「社介戦士サントイガー」の登場！福祉の魅力を伝えるために日々活動中のサントイガーは、この日もヒーローショー、会場内グリーティング撮影会、オリジナルカード配布、と大活躍。多くの子どもたちを笑顔にしていました。



■ 同日開催！「ふくしのつながりマルシェ」

トリアスモールスクエアでは、就労支援部会による「ふくしのつながりマルシェ」が同時開催されました。就労支援部会では、障がいのある方が一般企業への就職を目指した訓練や、収入を得るために仕事に取り組んでいます。この日は、久山自立園、ステップアップ、いいなサポート宇美、トライアングル、ミークス、わくわくスタジオ、ヒルンド久山が参加し、実際に事業所で作られている商品が販売されました。



■ たくさんの出会いと発見があるイベントに

福祉に関心を持ってもらいたい、必要な情報を必要な人に届けたい、という想いから実現した「Fukuoka福祉車両ふれあいの日」と「ふくしのつながりマルシェ」の同時開催。「初めて知りました!」「これで安心できます!」と思わず声に出してしまう出会いや体験をしていただきたい、と語っていた主催者の福祉車両修理専門店 mechanicの代表 近藤さんに、今回のイベントについてお話を聞きました。

—— このイベントを開催することになった経緯を教えてください。

福祉車両に10年以上携わる中で、自分たちのような福祉車両の専門店や取扱店の存在があまり知られていないと感じました。自分たちのような専門店が福岡県内に数社あること、福祉車両にこれから乗ろうと思ってる方やすでに乗られてる方が気軽に相談できるショップがあることを知ってもらえたら安心していただけるのではないかと思います、自分たちの存在のアピールをする場として「Fukuoka 福祉車両 ふれあいの日」を開催することを決めました。



—— “ふれあいの日” という名前に込めた思いは？

福祉車両は主に車いすを乗せて移動するためや、お体が不自由な方の移動手段として使われます。お使いの車いすがきちんと福祉車両に乗せることができるか？車いすの固定がきっちり出来るか？お体が不自由でも乗車がしやすいか？乗り心地が良いか？を確認する必要があります。なかなか試乗できない福祉車両に気軽に見て、これからの相棒になる車両とふれあう、そしてフィーリングの合った

車種を知ってもらうという目的と、ふれあいの日に集まってくださった方々がふれあっていただき、新しい仲間や人と人との繋がりをつくってもらおうという想いを込めて「ふれあいの日」にしました。

——今回のイベントで特に力を入れているプログラムは何ですか？

たくさんの種類の福祉車両にふれていただくのはもちろんですが、今回は特に介護福祉や障がい福祉、介護保険など皆様が必ずお世話になるであろう分野の専門家を招いての相談窓口に力を入れました。どんなことであれ、まずは「相談するところを探す」から始めますが、現実的に「どこに相談すればいいの？」になると思います。まず第一歩の相談窓口がたくさんあること、様々な専門分野の専門家が身近にいるということを知っていただきたかったので、相談窓口の開設はこのふれあいの日には欠かせませんでした。

——障がいのある方やそのご家族にとって配慮している点は何ですか？

一番に心がけたのは「お客様に寄り添い、同じ目線でお話をすること」でした。「必要な情報を必要な人に届ける」という共通認識を持ちながら、ご来場いただいた皆さまと接しました。

また、今回トリアス様のご協力により来場者専用駐車場をご用意していただき、より多くの方に安心してご来場いただける環境を整えることができました。



——最後に一言お願いします。

今回トリアス様のご協力がなければ、このふれあいの日を開催することは出来ませんでした。早くイベントを受け入れてくださったトリアス様に本当に感謝します。ありがとうございました。このイベントを一回では終わらずに、最低年一回の開催を継続したいと考えています。トリアスで行われるふれあいの日に行けば福祉車両の不安がなくなる、そしてたくさんの出会いと発見があるイベントとしてやっていきたいと思います。



本イベントは、福祉事業所のみなさんの熱意が来場者に伝わり、安心して福祉車両にふれあえる貴重な機会となりました。トリアスでは、今後もこのような温かい交流の輪が広がり、「福祉」が地域の中で一層身近な存在へと変わっていく活動を応援しています。

